

ゴミの分別を明確化するとリサイクル率は上がるのか？

3年1組15番 塚本 妃奈
3年2組16番 下本 仁音

Keyword:「地球温暖化」「分別」「リサイクル」「二酸化炭素」「プラスチック」

1. はじめに

私たちが住んでいる生駒市では、プラスチックゴミの中でも汚れているものは、燃えるゴミへ、綺麗なものはプラスチックゴミへ捨てることになっている。そこで、お互いの分別基準を確認すると、塚本家は、油のついたゴミはそのまま燃えるゴミへ、下本家は、洗剤を使って綺麗に洗いプラスチックゴミへ出していることがわかった。同じ市内でも家によって基準が違うので、どの分別方法が良いのか調査し、統一すれば、リサイクル率が上がるのではないかと考えた。

2. 序論

「ゴミの分別を明確化するとリサイクル率は上がるのか？」という問い合わせとともに、保護者・生徒にアンケートを取り、分別に対する意識や疑問に思っていることを調査した。その結果、ドレッシング容器の分別について、約40%の人が洗ってプラスチックゴミに、約60%の人が洗わず燃えるゴミに捨てていることが分かった。そのため、ドレッシング容器が一番分別が難しいと考えた。そこで、ドレッシング容器やソースを作っている会社のキューピー・おたふく・ピエトロにメールを送り、容器をどのように分別すればよいか質問した。行ったアンケートとメールから得た情報を分析し、生駒市清掃センターを訪問した。そこで施設見学と職員の方へ質問を行い、どのように分別していくか話し合った。

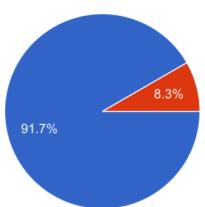
3. 本論

実施したアンケートから、同じゴミでも家庭ごとに分別方法が違い、特に分別が難しいドレッシングボトルの分別について違いが目立つことがわかった。どのような時にプラスチックゴミを燃えるゴミに捨てるのか質問をしたところ、「汚れが目立った時」・「油汚れがあった時」など意見が曖昧でバラバラであった。また、分別で困っていることを聞くと、「惣菜トレーなど脂汚れがあるものを洗浄する時汚れた水を流すのに抵抗がある」・「洗っても汚れの取れないプラスチックは可燃ゴミとして捨てるべきか」などの意見が見られた。特に、分別がバラバラだったドレッシング容器を作っている企業に、ドレッシング容器はどのように分別すれば良いか聞いたところ、全ての企業が「容器に記載されてある分別マークに従って捨てて欲しいが、自治体の分別に従うのが最優先だ」と返事をもらった。これらの情報を踏まえ、清掃センターの方とお話しすると、「油汚れがあるプラスチックゴミは、油汚れを洗いプラスチックゴミとして出したとしても、汚れが少しでもあるとリサイクルができない」、そして、「リサイクルをするために洗剤を使ってしまうと、結局環境に負荷がかかってしまう」、という見解をもらった。清掃センターでのお話しより、私たちが油汚れのついたゴミを洗剤で洗ったとしても、リサイクルセンターでリサイクルできないとされ、結局、燃えるゴミに出されてしまう可能性が高いとわかった。そこで、水で洗える汚れは洗ってプラスチックゴミへ、洗剤を使わないと落ちない汚れは、そのまま燃えるゴミへ捨てるのが一番良いと結論付けた。そし

て、これらの情報を発信すべくパンフレットを制作し、三者懇談で頒布した。

プラスチックボトルを捨てる際、洗って捨てていますか？

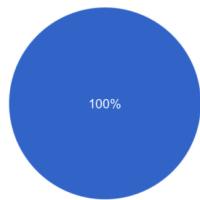
24 件の回答



● はい
● いいえ

容器の識別マークを確認して捨てていますか？

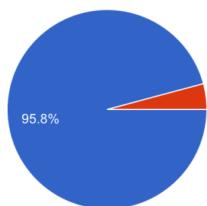
24 件の回答



● はい
● いいえ

プラスチックボトルのラベルを剥がして捨てていますか？

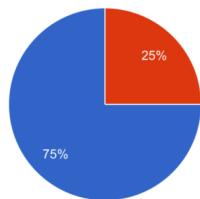
24 件の回答



● はい
● いいえ

上記の質問を通してご自分がきちんと分別をしていると考えますか？

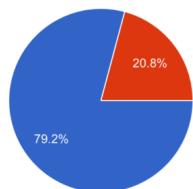
24 件の回答



● はい
● いいえ

惣菜等買ったときのプラスチックトレーを洗ってプラごみに捨てていますか？

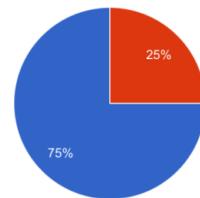
24 件の回答



● はい
● いいえ

ゴミの分別に興味がありますか？

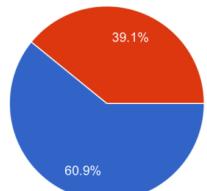
24 件の回答



● ある
● ない

ドレッシングボトルを使い終わったとき、注ぎ口を外して中身を洗って分別マークに従って捨てていますか？

23 件の回答



● はい
● いいえ



4. 結論

「ゴミの分別を明確化するとリサイクル率は上がるのか」という問い合わせに対して、「リサイクル率は上がらないが環境負荷を軽減できる」というのが答えた。調査した結果、今まで洗剤を洗ってまでリサイクルに出ていたゴミを、燃えるゴミに出した方がよいので、リサイクルに出すゴミは減るが、その分、排水や水質汚染の面で軽減できる環境負荷の方が大きくなる。しかし、どのように分別すればよいかは分かったが、それを広めていくことができなかった。三者懇談で高校全クラスにパンフレットとアンケートを設置したが、アンケートは三件しか回答がなかった。また、どれだけ分別方法を伝えても、今までのやり方を変えるのは面倒くさいとする人が大半なので、人々の意識から変えていかなければならないのが結論である。

5. おわりに

自分自身の変容 この活動をする前より分別を意識するようになったり、街中で買ったものを、そこにある分別されていないゴミ箱に捨てるのではなく、家に持つて帰つて正しく分別するようになった。これから生き方として、生駒市の分別については、正しくすることができるが、将来どこかに引っ越したときにはしっかりその土地のゴミの分別に従い、調べてもわからないところがあれば、その地域の市役所や担当者に電話をかけて正しくゴミの分別をしたい。

6. 参考文献・出典

「ゴミの出し方・分け方」.生駒市公式ホームページ

[https://www.city.ikoma.lg.jp/category/26-1-2-0-0-0-0-0-0.html\(2025.10.2\)](https://www.city.ikoma.lg.jp/category/26-1-2-0-0-0-0-0-0.html(2025.10.2))

キューピー公式ホームページ

<https://www.kewpie.co.jp/>

おたふくソース公式ホームページ

<https://www.otafuku.co.jp/>

ピエトロ公式ホームページ

<https://www.pietro.co.jp/products/dressing/>

